

## 野向小児童会「美化活動コンクール」で 林野庁長官賞を受賞



作業に取り組む野向小児童たち

昭和60年頃から様々な学習や遊びの場として整備された龍谷山遊歩道が、長年のうちに荒れてしまったため、野向小学校児童会が立ち上げられました。

地元の青郊会や勝山青年会議所、地域のかたがたの協力も得ながら、遊歩道の倒木や草木の撤去作業、またブランコ、ハンモック、ターザンロープなどの遊具の製作と設置を行い、再開発を手掛けました。

さらに、地域の保育園や市内の小学校に呼びかけ、完成した遊歩道で楽しく遊ぶ企画もするなどの素晴らしい活動が評価され、「第17回森林レクリエーション地域美化活動コンクール」において、林野庁長官賞を受賞することとなりました。

同児童会では、昨年の熊出沒により壊されたネームプレートの補修作業や、遊歩道の歌々を作るかと計画しています。

## お待たせしました！ かつやま土曜夕市の再開です！

冬の間休止していた「かつやま土曜夕市」が、5月28日、約5か月ぶりに再開されました。会場の市民活動センター周辺では、個人やグループがホウレンソウや山ブキなどの野菜や山菜、キビもちや木工品、手作りの民芸品などの売り場を広げ、再開を待ちかねた多くの市民でにぎわいました。訪れたひとたちは、売り手との会話を楽しみながら、お目当ての品を買って帰っていました。

また、この日は、「サイクルフェスタ in 勝山2005」が行われているということもあり、まちなかを巡る「エコツーリング」の参加者も立ち寄ってさらににぎわいをみせていました。

「かつやま土曜夕市」は、11月末まで、毎週土曜日午後3時から、同センター周辺で開かれています。



再開した土曜夕市へ買い物に訪れるおおぜいの市民ら



スタートするヒルクライムの参加者たち

## 街中をにぎわせたエコツーリングと 全国の強豪が集い、競われたヒルクライム

「サイクルフェスタ in 勝山2005」が5月28、29日に開催され、長尾山総合公園を起点とした催しが行われました。

初日は、勝山の名所のほかに、市内の隠れスポットやグルメスポットを巡る全長約16kmをコースとしたエコツーリングが行われ、県内外から約80人が参加しました。

勝山城博物館や越前大仏などの名所を巡る途中、市民活動センターで再開された土曜夕市やグルメスポットに立ち寄り買い物をするなど、それぞれのツーリングを楽しんでいました。

翌日は、五輪出場選手らを含めた約200人の選手らが、長尾山総合公園から、法恩寺山「中の平小屋」までの距離17.4km、標高差730mのヒルクライムのコースに挑戦しました。

## さつきの盆栽などに魅了！ 勝山花季さつき展

勝山市の花であるさつきを展示する「第30回勝山花季さつき展」が、勝山さつき愛好会主催により、6月4、5日の両日、教育会館で開催されました。

愛好者27人が出展したサツキの盆栽は、数十年かけて鉢で育てており、その見事な枝ぶりや美しい花が訪れる人の目を引きつけ、愛好者の思い入れや丹精込めた手入れに感動するなど、楽しませてくれました。サツキの盆栽は、花が咲いて楽しみ、散ってからでも枝や幹を見て楽しめるのが良いとのこと。

会場では、さつきの苗木や盆栽のほかに山野草等の即売もされ、行き交う人々は気に入った盆栽などの前で足を止め、じっくりとその出来映えを眺め、愛好会のかたに話を聞くなどしていました。

このほかに、サツキ愛好会による「さつき作りの相談」コーナーもあり、愛好者の関心を集めていました。



市の花「サツキ」の美しさを堪能



市役所1階に設置された「市民相談コーナー」

## 気軽にご相談ください！ 市役所内に「市民相談コーナー」を設置

市では、市民が気軽に相談できるよう、6月1日、市役所1階に「市民相談コーナー」を新設しました。

これまでは、市役所内に相談室が1つしかなく、使用中はほかの相談者が利用できずにロビーなどを利用していたということもあり、今回新しく3か所の部屋が設置されたものです。

今回設けられた同コーナーは、使用していることがわかるよう半透明のボードで仕切られるなどプライバシーの保護も考慮しています。

市では、平成16年度で、消費生活相談や税務相談など延べ550件以上の各種相談が寄せられています。

## 勝山での生活に溶け込むために 「外国人のための日本語学習広場」開催中！

市では、市内在住の外国人を対象にした日本語の講習を通じて、ごみの出し方など暮らしにおけるマナーも学習してもらおうと、「外国人のための日本語学習広場」を定期的に開催しています。

学習会の内容は、参加者からの事前アンケートにもとづいて実施されているもので、講師には、海外協力隊として中国で日本語教師の経験をもつ大久保千恵さん（元町2）が務められています。

取材したこの日は、市内在住の中国、韓国のみならず、ごみ分別表や不燃物の実物を教材に、ごみの出し方の説明を受け、実際の分別作業なども体験していました。参加者からは、自分たちの国の文化の違いを感じながらも勝山での暮らしに溶け込もうと熱心に耳を傾け、活発な質問もされていました。



生活上の疑問点や問題点をひとつずつ解決

この学習広場は、サークルとして今後も続けられていきます。